

「ぜんだこの森」事業を開始します

●事業説明会開催(9月2日)

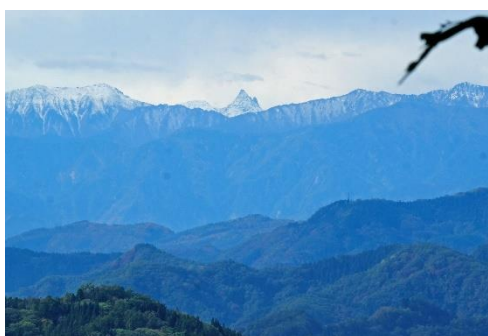
公益財団法人国土緑化推進機構の緑の募金事業として、「ぜんだこの森」事業を開始します。これに当り会員向けの説明会を開催しました。その中でいろいろな意見が出て来ました。「安全面から年度毎に整備エリアを分けず、全体面積を広く使って少しずつ整備した方が良い」と言う貴重な意見がありました。また森づくりの成果を定点観測する件では、「専門家をお願いすべき」、「ドローンを使った航空写真で記録してはどうか」、「赤外線カメラを設置してはどうか」など多くの意見がありました。



早速設置した赤外線カメラに鹿！

●整備作業開始(10月11日～)

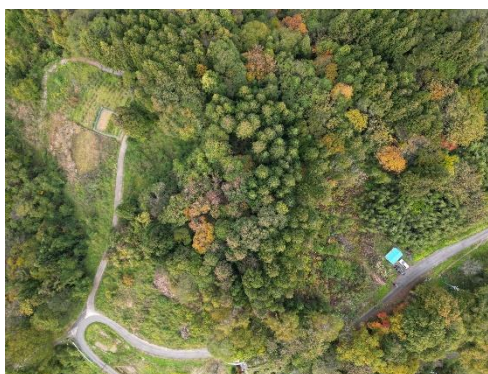
いよいよ整備作業のスタートです。さて、どこから手をつけましょうか。まずは危険木の伐採とつる切り、そして残す木を選木し、「ぜんだこの森」の大きな樺の周辺で北アルプスの展望が楽しめるように除伐作業を行うことにしました。細いつるはクリスマスリースになるので敢えて残して、里山講座などで除伐して持ち帰ってもらうことにします。



除伐を進めると槍ヶ岳がドーン！

●森カフェ®の開催準備

ぜんだこの森でやりたい事のひとつが森カフェです。前号で紹介した通りコーディネーターの資格を頂きましたので、早速やってみたいと思っています。のんびりと森林浴するもよし、焚火もよし、どうぞお好きな時間をお過ごし下さい、がコンセプトです。森カフェは会員はもとより地元の方々が森カフェに気楽に参加できるように進めていきたいと思っています。



現状記録のためドローンを飛ばしました

「ぜんだこの森」事業開始

..... 1

9月-10月の活動から

..... 2

《フリートーク》

ナキウサギを訪ねて

..... 4

SFW 通信にご意見・ご感想を下さい。また SFW の活動に限らず趣味や日常のちょっとしたことなど《フリートーク》をご投稿を頂けるととても嬉しいです。

また、メルマガ(メーリングリスト)のアドレスは sfw-mail@sfw.or.jp です。皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。

9月～10月の活動から

●岩草区草刈り(9月17日)

今年最後の岩草区の皆さんによる草刈りに SFW も参加しました。今回はピザ窯の使い方を教えて欲しいとのことで、我々は草刈り班とピザ窯班に分かれて作業を進めました。前回は7月30日に行っており、その後の少雨のためかそれほど草は伸びておらず、予定よりも早く草刈りが終わりそうでした。急いでピザ窯に火を入れました。幸い皆さんが草刈りを終えるまでにはピザを焼くことが出来ました。そのまま鎮火させては勿体ないということで、自分たち用にパンを焼きました。ピザ窯で焼いたパンはちょっとワイルドで、味はもっちりしていてとても美味しかったです。最後に鎮火の方法をお伝えしました。その後、既に使ってたでしょうか。

作業が終わって拠点の旧岩草分校に戻ると映画のロケハンが始まろうとしていました。SFW の中からもひとりエキストラに選ばれたようです。どんな映画が観られるのか、楽しみです。



最後に理事長特製味噌パンを投入！

●軽井沢スケートクラブ森林体験教室(9月23日)

飯綱高原にある長野市体験の森にて、軽井沢スケートクラブの子供たちに森づくりを体験してもらいました。

SDGs のお話を少しした後、早速除伐作業を体験してもらうため、



除伐・枝打ちをしっかりとってもらいました

鬱蒼とした暗い森の中に入ります。でも1時間もすると随分と明るくなってきました。除伐の後は枝打ちをしました。2時間みっちり作業をして、とても明るい森になりました。

お昼は小雨模様で午後の作業が少し心配でした。でも SFW のスタッフは焚火が大好き。雨で少し苦戦しまし

たが、何とか焚火に火が着きました。そして子供たちに森のエネルギーで焼いたマシュマロを食べてもらいました。美味しかったかな。



ちょっと怖かったチェーンソー体験

幸い雨はあがって、午後も予定通りできそうです。まずは除伐で出た木を子供たちが切って「棒リング」ゲームを楽しみました。チェーンソー体験では「やりたい人？」と聞くと沢山の手が上がりました。実際に玉切りを始めると大きな音と振動にちょっとびっくりしたようでしたが、最後まで頑張りました。玉切りしたその丸太を使って最後に薪割り体験。これもよく頑張りました。えらいぞ！



軽井沢 SC の子供たちが今年もやってきた



軽井沢スケートクラブの子供たちはとっても元気！そして何事にも一生懸命やろうと言う姿勢がとても印象的です。来年も是非来てくださいね。

●長野市立城山小学校 高原学校クラフト教室(9月28日)

この日は、雨が降ったり止んだりと林内の広場でできるかどうか気を持たせましたが、学校としては、せっかくの高原学校なのだから、少し位の雨なら屋外でやりたいという意向でしたので決行しました。

前日の飯綱山登山の疲れも見せず、時間通りに集合し、始めの式を行ってクラフト教室開始です。始めのうちは、何を作ったら良いか迷っている児童もありましたが、決まるとノコギリやナイフを上手に使って作っていました。中には自分の好きな新幹線の車体を作った児童もあり、木から何でもできるんだねと感心してお友達に見せておりました。

各自思い思いの作品作りができ、終了5分前になっても一向に止める気配がないほど集中して楽しんでおりました。

途中から雨脚が強くなってきましたが、誰もやめるとも言わず、なかなかやる気のある学校だと思いました。

しかしながら、雨と土にまみれた道具やシートの後片づけが思いやられます。(中島正博)



ナイフの使い方は難しいけれど楽しいね

●ぼくらの裏山プロジェクト～長野市立松ヶ丘小学校クラフト～(9月30日)

今年度3回目の裏山プロジェクト(裏プロ)。参加児童6名、大人4名と少なかったのですが、それだけ意欲のある人が参加してくれたので充実した活動ができました。

今回の活動は、裏山を整備して出た木を使ってクラフトです。まず全員ヘルメット着用し、クラフトに使える木をスグスグ広場へ運びました。そして各自思い思いの作品をノコギリや剪定鋏等を使って作りました。2年生の児童でも、ノコギリを上手に使って玉切りし、ロボットを作った子もありました。1時間程のクラフト時間ですが短時間にイメージをふくらませて作品にでき、さすが裏プロのメンバーだと感心しました。

10月末に裏山の枝を焚いて、焼き芋大会を学校で行うそうですが、これぞ森のエネルギーの活用でとても楽しみです。(中島正博)



木の実や葉っぱを使って作ります

●長野県立長野西高等学校中条校「中条チャレンジの森」活動(10月18日)

この活動は長い歴史があり、中条校が道の駅中条に隣接する「ろくちゃんの森」(SBCが里親)の整備活動に参加するようになって、「中条校の裏にも立派な森があるじゃないか、ここを学校林として整備していこう」と言うことになり、「中条チャレンジの森」と名付けたそうです。新型コロナや大雨による災害の影響があり、今年は4年ぶりの活動になります。4年ぶりですので生徒たちは誰も経験がないわけですが、A班からH班までの8班に分かれ、それぞれ先生と指導者がついて整備作業を進めました。

リーダーシップを取る生徒、黙々と作業する生徒などそれぞれ個性的ですが、チームワークは抜群です。そしていい仕事をしようと言う生徒たちの意気込みが良く伝わって来ました。将来が楽しみです。

この日は朝からずっと快晴でとても気持ち良く作業が出来ました。もう少し補修したいところがいくつか残りましたが、それは来年の楽しみに取っておこうね。



遊歩道の階段を補修

9月上旬、カヅミさんがナキウサギに会いたいということで、コロナも明けたしどっこらしよと北海道に行ってきた。便利な世の中で割合簡単に鹿追町の然別湖南岸ヌプカウシヌブリという山の頂から少し回り込んだ岩場で見られる可能性が高いということが調べられ、そこを目的地とすることにした。



ナキウサギ生息地入口

真。もう一つはエゾライチョウとのことだ。ビックリしたのはその後ネコが出て来たこと。自分からこんな山中に来るとは思えず誰かが捨てたのか、カヅミさんはチーカマをちぎって捕獲を試みるが相手にされず。これから何頭のナキウサギがネコに狩られてしまうのか気がかりな事だ。

帰ってから北海道の森について少し調べた。巨木の宝庫といわれた北海道の天然林もどんどん切り出され、その後トドマツとカラマツ



大雪山旭岳

夏でも涼しい環境を好むナキウサギは風穴という岩場に生息しているとのこと。8時ごろ現場に着くと二人の写真家が巨大なカメラを構えて待機中。ピューという鳴き声の方を見ると走り逃げていく影、デカカメラから機関銃のような連続音がする。カヅミさんの iPhone11 で撮影したのが右の写



ナキウサギ



エゾライチョウ

が植林され、まだ経済的にペイできるほど育っていないので、成長の早いシラカバを

活用した仕事づくりが考えられているそう。確かに道路両側には勝手に生えてたちまちデカくなったような白樺並木よく見られた。

折角だから旭岳ぐらいには登りたく、カヅミさんにナキウサギいるかもと言って登らせてもらった。

前号で「お盆を過ぎたらせめて猛暑日だけは勘弁して」と書きましたが、完全に甘かったです。気象庁によると今年長野市の猛暑日の日数は何と 24 日、最終は 9 月 5 日でした。そんな猛暑の続く中、個人的に今年最大の目標であるジャンダルムに登って来ました。奥穂→西穂ルートです。馬の背を越え、ロバの耳を越えて、憧れのジャンダルムの天使に会えた時の達成感はいまだの山にはないものがありました。そんな記憶に残る山旅が出来たことに感謝です。でも残念な事に今年はこの付近で多くの遭難が発生してしまいました。亡くなられた方のご冥福お祈りします。(丸尾幸男)

NPO法人 信州フォレストワーク

〒381-2246 長野市丹波島1-725-5

電話・FAX: 026-285-2573

携帯電話: 090-2658-2044

e-mail: office@sfw.or.jp

URL: <http://www.sfw.or.jp/>

